



## 第65回 日本学生科学賞(和歌山審査) 受賞!

「SSH news2021 第14号」でも取り上げた通り、第65回日本学生科学賞の和歌山県審査が10月12日に行われ、本校生徒の3つの研究作品が受賞し、中央予備審査(全国予備審査)へと進むことが決定しました。本校環境科学科では、2年次に授業(「SS探究科学II」)で課題研究に取り組んでおり、その成果が認められ、**知事賞**、**教育委員会賞**、**県議会議長賞**を受賞することができました。この度、研究を担当した環境科学科3年生が表彰されました。

### ① 県知事賞：「水生植物のアレロパシーは陸上の生物に応用可能か」

多計和真, 福本悠貴

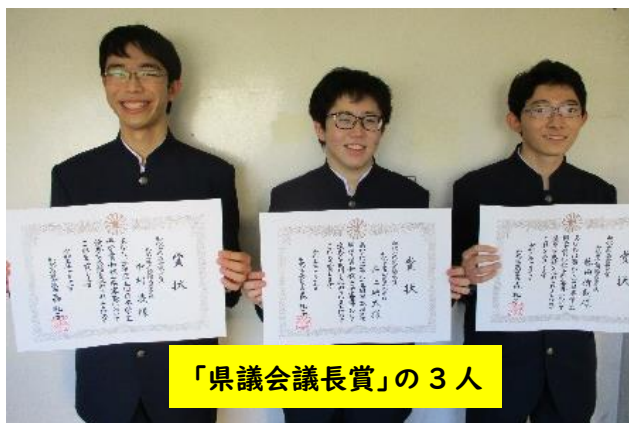
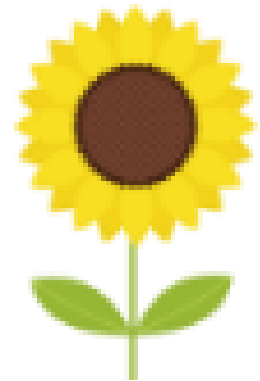
### ② 県議会議長賞：「災害時の電気通信網接続復旧機構～小型ロボットによる災害発生後の迅速な安否確認の実現～」

中村凌, 井上穂大, 藤田侑哉

### ③ 県教育委員会賞：「マランゴニ効果による油滴の自発運動」

藪本快都, 津村忠明, 西谷美咲, 赤山陽菜, 岩崎菜留

「県知事賞」の2人



「県議会議長賞」の3人



「県教育委員会賞」の5人

県知事賞を取ったチームは、「今回、県知事賞を頂くことができ大変光栄です。はじめは思ったように結果が出ず、苦労しましたが、二人で議論を繰り返しながら実験に励みました。この研究の時間はかけがえのないものになりました。この経験を糧に大学に入っても頑張りたいです。」という感想を頂きました。